

「一致がもたらす希望」

ローマ 15: 1 ~ 17

失敗を恐れて優柔不断になり、何も決断出来ず、前に進めない人がいました。悩むのは恐れるからです。自分の決断方法が正しいかどうかを判断する為に大切な事は良心です。これは社会的道徳的なものではなく、神様が与えて下さった判断基準の根源の心事です。その当時の社会常識で良しとされていても、人としてどうなのか？例えば、武士の時代に無礼者と言って人を切る事、現代社会で食べ物大量に捨てている事。本当はいけないはずなのに、まあいいかとそのまま流されていると、良心がどんどん麻痺していき、判断力が鈍ってしまいます。又、決断の目的が誰の為にどんな方法を用いるのが最善なのを考える事が大切です。例えば、東京に行きたいのなら、東京行きが来る駅で待たないといけないし、東京行きに乗ったなら、どんなに車がゆっくり進んで、時間がかかっても、必ず目的地に着くので、絶対に途中で降りない事が大切です。自動車に入れるのはガソリンと決まっています。でも、私達だけが、自分の取り扱い方法を知らずに使っています。総社駅で東京行きが来ないと言っているのです。初日の出の景色一つみても、山、雲、太陽、空、海など、一つのものだけではこの素晴らしい景色は出来ません。これらの物が融合することで、素晴らしい景色になるのです。同様に、あなたと隣人が融合する事で物事を成す事が出来るのです。神様は、賛美の中に住まわれます。賛美するとは、私達の心の状態に関係なく、口で告白する事です。又、2~3人、イエスキリストの名のもとで集まり、彼の方法で生きようと、愛を現わす中に神様はおられます。自分が融合する人は誰でもいいのです。

今、自分で決めて、自分が責任をとるなら何をしてもいいのではないかと、隣人とあいさつもしない冷たい自己中心の社会になっています。先を見る事が出来ず、一時の希望の事が多いので、一致が必要なのです。私達の生き方が変わるとは、目線が変わる事です。

①弱さの理解 ローマ書 15: 1 ~ 3

神様は私達の願いを全てご存知で全て与えて下さいます。あなたの願いは結果ですか？目的ですか？結果だと正しい決断を壊してしまいます。私達は豊かになるべきですが、お金儲けの為に生きてしまうと間違えてしまいます。自分の願いが閉ざされた時、失望が起きますが、その時に自分の希望が本質であったのかか試されます。目的がずれると結果が変わってしまいます。失望は、結果と目的がずれている時に起こる事が多いので、目的がずれないように神様は私達に教会を与えて下さっています。教会には様々な人がいますが、互いの弱さを理解する事が大切です。又、家庭は最小単位の教会です。

藤井圭子さんという尼からキリスト者になった方がいます。彼女は小児科医師をしていましたが、自分の生きる目的、人生の意味がわからなくなり、寺の尼になり出家もします。でも明確な答えが得られず、夫との関係でも不満が募り、愛情も持たなくなりましたが、近所に教会が出来た事で、神様と出会い、生きる意味と目的が分かり、夫との関係も仕事の状態も変えられました。これは一人の信じた者に裏切られた、諦めの中にいた女性に起きた奇跡の証です。

今、自分が探し求めているものを一度置いて目を離し、違う視点で生きる事が大切です。今願っている希望は何ですか？聖書はこの地上での幸せの為に私達は生きる訳ではないと明確に言っています。私達の心が神様に繋がっている事が大切です、神様の視点で生きると、結果、地上でも幸せになるのです。

②キリストの同じ思い 15: 4 ~ 5

自分の願いを神様の願いと一つにする事、上の物を求める事が大切です。自分の内に自分が生きるのではなく、キリストが生きていく事が神様を信じる事です。皆さんは、社会で起きているニュースを見てどの様に感じていますか？悪い行動をしている人を裁いたり、責めたりしていませんか？善悪を判断して決めつけていませんか？裁くのは神様の役目で、それは葬り去る事や罰ではなく、正しいかどうかを伝える事であり、左右に分ける事です。もし、あなたが自分の決めつけて怒っているのなら、爆撃をしたイランと同じです。でも、自分も同じだと気が付けたら、幸いです。神様と同じ思いになる事が大切だからです。聖書には諦めなかった人と、諦めた人の人生が書かれています。私達に忍耐と希望を与える為に聖書はあります。失望が起きます、そのまま終わってしまう事はないので、忍耐する事が大切です。我

慢ではありません。我慢はあなたを苦しめるだけで、マグニチュードになって、海で起これば海面を押し上げ、津波となって全てを破壊してしまいます。神様はあなたの願いを知っています。そしてあなたの願いより、何十倍も大きく、慈しみと恵みとして、あの海の沖の波のように繰り返してあなたの所に、壊す波ではなく建てあげる波として押し寄せてきます。順番にそれを乗り越えていく時に、いつの間にかあなたはその目的の所に立つのです。

③受け入れるとは神に栄光を帰する事 15: 6 ~ 7

自分が願った事より、神様が与えて下さるものはもっと素晴らしいから、一時期願いが叶わないのは良い事なのです。ローマ 8:28に「神を愛する人々、すなわち、神の御計画に従って召された人々の為には神が全ての事を働かせて益として下さる事を私達は知っています。」とあります。人は願いが叶わないと、自己中心になります。でも、自己中心にならず、十字架を覚え、思う通りにならなかった時に、神様は自分に何かしようとしていると思って下さい。イエス様は神が人となる事を通して、私達にへりくだる事を教えられました。神様のところに帰る事が私達の人生の目的です。もうすでに十字架の勝利で達成されたものを証する為に私達は生きています。従わない事は偶像礼拝の罪であると聖書は言っています。従うとは隣人を愛する事です。愛するとは、キリストが家畜小屋に生まれて十字架にかかったように、光となるという事です。それは裁く光ではなく、平安を与える光です。大切なのは向き合うべき人から逃げない事です。その人と一緒に解決していく時に全てが変わります。家族はあなたが諦めない様に支える存在です。だから家族を無にせず大切にして下さい。助けられた人は弱っている人を見て、なぜそうなんだと指さし、裁かないで下さい。あなたも助けられたのです。あなたと一緒にです。一致とは考えを一つにするのではなく、イエスキリストに愛され赦された者としての思いを一つにする事です。だから、お互いに受け入れ理解が出来るのです。この賛美を今年のテーマとして覚えて下さい。

『感謝します。試みに合わせ、鍛えたもう主の導きを。感謝します。苦しみの中に育てたもう主の御心を。しかし、願う道が閉ざされた時は目の前が暗くなりました。どんな時でもあなたの約束を忘れない者として下さい。』

願いが叶った時、それを書き綴り忘れないで下さい。問題が起こった時、卒業して次の段階に導かれているのだと知って下さい。必ずあなたは栄光の神の御業を見ます。今、もし何も問題がなく平穏ならば、感謝な事ですが、あなたが自分中心に生きている時、しばらくは思い通りに平穏になるものです。その平穏もいつか壊れます。この地において神様はあなたを訓練されます。あなたがどんなチャレンジに会っても乗り越えられるように、そして一致できるように祈って下さい。聖書には、「持っている者は気をつけなさい、いつも心の貧しい者でいなさい。義に飢え乾いていなさい」とあります。周りが義でないからこそ、義を探すチャンスになるので感謝なのです。しかし、あなたの周りが平和で落ち着いているなら感謝な事ですが、気をつけて下さい。本当に今そうなのかを足元を照らして見て下さい。心が緩んだ時に誘惑者はあなたに訪れます。だから、闘っている人は感謝です。教会は良い状態にある人と、闘っている人が共に一つになる事で、病める時も豊かな時も共有し、一致出来、いつも同じ状態にいられるのです。そして、最後あなたは神の作品に戻っていきます。だから、上手く行っている時、神様を探して下さい。日本は今そういう時です。平和で何も問題ないかのように思えます。苦しみに会った時、なぜ自分だけがこういう目にと思わないで下さい。必ず闘いに会います。願った事が叶わない事が起こります。でも神様があなたに与えようとしている願いはそんな小さなものではなく、背後にあるもっと大きなものを一つにして着せようとしています。だから、自分の願いを捧げて下さい。それ以上の物が必ず与えられます。

(要約者:日名 陽子)

(2020年1月12日)